

授業科目 地域看護活動論III

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：G10】 地域で生活する人々の健康を保持増進するために必要な技術である、保健指導について理解する。					
【学習目標】 1. 地域看護活動における保健指導の位置づけと目的を説明する。 2. 保健指導を実践するために必要な理論を説明する。 3. 個人や家族、集団に対する保健指導の方法を知る。 4. 住民が主体的に健康を保持増進する活動を支援する方法を知る。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	既習学習から保健指導の目的、対象、特徴を想起し、再認識する。			1	講義
2	すでに学習した保健指導に活用できる理論と保健指導を結びつける。			2	講義
3	健康診断、健康教育・健康学習等集団に対する保健指導の展開方法を知る。(1)			3	講義・個人ワーク
4	健康診断、健康教育・健康学習等集団に対する保健指導の展開方法を知る。(2)			3	講義・個人ワーク
5	健康相談、家庭訪問等個人や家族に対する保健指導の展開方法を知る。(1)			3	講義・個人ワーク
6	健康相談、家庭訪問等個人や家族に対する保健指導の展開方法を知る。(2)			3	講義・個人ワーク
7	地域組織活動の支援方法を知る。(1)			4	講義
8	地域組織活動の支援方法を知る。(2)			4	講義・グループワーク
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		健康学習とその展開	松下 弘	勁草書房	3,399円
その他の資料		国民衛生の動向		厚生統計協会	2,400円・最新版
【評価方法】 課題レポート又は試験 授業の参加状況		【履修上の留意点】 3年後期の地域看護学実習に直結する授業で、今まで学習してきた内容を応用する授業である。既習学習で使用した資料や学習成果を整理し、復習しておく必要がある。			